

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

特定非営利活動法人 まごの手

1 事業実施の成果

「まごの手」は、令和元年度も支援を必要とする人を深く受けとめ、助け合いの精神を持ち、“安心して暮らせる地域社会”実現のため、柔軟で迅速な支援「制度外の在宅福祉サービス」や「移送サービス」、誰もが自由に立ち寄れる「居場所づくり」など行ってきました。

まごの手の居場所ふれあいハウス「たんとんとん」では佐野市ハツラツ元気体操に取り組み、体験された参加者は健康増進になったと好評でした。

平成27年7月9日「認定NPO法人」に認定され、令和元年度は127名の賛助会員の支援をいただきました。「まごの手」の活動を知っていただき、大きな支援になっています。

佐野市を安心して暮らせる地域社会にするために、佐野市生活支援体制整備協議体会議に参加し、支え合い体制の推進について意見交換を行いました。

介護関係有志の会「いろえんぴつの会」が企画した施設見学、地域交通についての勉強会に参加しました。

今年度末の12月からにおける社会を震撼させる新型コロナウイルスの問題は、「まごの手」の収益減から始まり、数々の人の集まりの中止と共に、ふれあいハウス「たんとんとん」の集まりにも影響を及ぼすことになりました。私たちNPO法人の柱である「寄り添う支援」を再度考えさせられ、私たちの立ち位置を再考させられることになりました。

地域住民の生活援助事業

人の暮らしの支えは公的援助だけでは十分でないことは、制度外の在宅福祉サービスを提供してきた「まごの手」の活動継続が物語っています。迅速で柔軟な対応はまさにかゆい所に手が届く“まごの手”のように欲しい時に欲しい援助が届くということでしょう。今年度も多くの住民のニーズに応えられるよう努め、介護保険事業所や地域包括支援センター、障がい者支援センターと連携を取りながら病院・買物の付添い、掃除、買い物代行などを行ってきましたが、今年度末からの新型コロナウイルス感染予防に伴う入所施設や病院の面会禁止等の措置により、外出・面会ができなくなってしまった方、在宅の方はご家族の方とも相談の上支援させていただきました。緊急通院の方の送迎、付添いはリスクはありますが、気を付けながら対応させていただきました。その様な中、生活援助事業の担い手が十分でないことも、希望する援助どおりの支援ができにくくなっており、支援者を創出することは今後の課題になっています。

福祉有償運送事業

福祉有償運送の安全なサービス提供のため、一日の活動前の提供車両の整備・日常点検や定期点検、運転者の健康管理チェック等を行いました。

運転希望者は、福祉有償運送運転者講習会を受講し、介助方法や運転技術の向上を図りました。また、70歳以上の運転者は今後も安心して活動するため、適齢診断を受けました。

運転技術向上のため、運転者講習講師育成研修会に参加しました。

事故も無く令和元年度の福祉有償運送ができました。

新型コロナウイルスの感染予防に伴い車両内の消毒、体温の有無に気を付け、マスクを着用しながら送迎に取り組みました。

地域福祉充実の為の調査、研究事業

「まごの手」通信を定期的に発行し、利用者・会員・地域へ情報発信し、活動への理解が深まりました。

地域の居場所づくり事業

地域の人が気軽に立ち寄れる居場所（ふれあいハウス「たんonton」）づくりに取り組んできました。お抹茶の会・健康体操・オカリナ演奏・折り紙教室・民話・腹話術・笑いヨガ・高齢者向けレクリエーションなどの行事は、利用者もボランティアも楽しみなものになっています。また、ふれあいハウス「たんonton」で自分の特技を生かし、講師としてボランティアで企画に参加して下さる方も増え、とても助かっています。

佐野市ハツラツ元気体操に取り組み、体験された参加者は健康増進になったと好評でした。

ふれあいハウス「たんonton」は、予防介護に相当する要支援1・2の方や介護保険の認定を受けていない方もできる限り自分らしく長生きできるように必要な居場所になっています。

平成31年4月5日に「とちぎコープ生活協同組合」より頂戴いたしましたNPO法人助成金はふれあいハウス「たんonton」に活用させていただきます。

ふれあいハウス「たんonton」の特徴である介護保険の認定を受けていない方、障害のある方、皆さんが来れる居場所も新型コロナウイルスの感染対策に伴い、ボランティアや講師の方の自粛等もあり、参加者の皆さんと話し合いながら、休業や週1回開く等工夫しながら行いました。

地域福祉に関する啓発・普及事業

地域福祉の啓発・普及の一環として開催した「ふれあいコンサート」は、佐野少年少女合唱団「ドルチェ」による合唱、ケーナアンサンブル「モクレン」によるケーナ演奏を行いました。

平成27年7月9日付「認定NPO法人」に認定され、令和元年度は127名の賛助会員の支援を頂きました。「まごの手」の活動を知っていただき、大きな支えになっています。

新総合支援事業では、地域住民の果たす役割が重要になってきます。佐野市を安心して暮らせる地域社会にするために、佐野市生活支援体制整備協議体会議に参加し、支え合い体制の推進について意見交換を行いました。

介護関係有志の会「いろえんぴつの会」にて、住民による地域の支え合い事例や佐野市協議体についての意見交換や施設見学、地域交通についての勉強会に参加しました。

とちぎ福祉ネット主催の施設見学に参加しました。

他団体との連携及び交流事業

とちぎ地域福祉ネットに参加し、他団体と交流しました。

バザー等物品販売事業

令和元年度の活動はありませんでした。

このように皆様のご支援により、地域福祉の充実を目的とした「まごの手」の活動ができました。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 地域住民の生活援助事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
家事支援 身体介助 通院・外出付添など	H31.4~ R2.3 月~土 8:00~18:00	依頼主の 指定場所	9人	まごの手 利用者 163人	1,705

② 福祉有償運送事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
自家用有償旅客運送 (福祉有償運送)	H31.4~ R2.3 月~土 8:00~18:00	佐野市内	8人	まごの手 利用者 136人	3,743
福祉有償運送運転者 講習会受講	R1.11.23・24	高根沢町	1人		
適齢診断受講	R2.2.26 R2.3.2	宇都宮市 自動車 事故対策機構	4人		
運転者講習講師 育成研修会参加	R1.11.10	宇都宮市 共立自 動車学校	2人		

③ 地域福祉充実の為の調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
まごの手通信発行	R1.6 R1.9 R1.12	まごの手 事務所	3人	栃木県住民等	41

④ 地域の居場所づくり事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
ふれあいハウス 「たんとんとん」 開所	H31.4～ R2.3 水・金 10:00～15:30	ふれあいハウス 「たんとんとん」	15人	たんとんとん 利用者 18人	1,654
佐野市ハツラツ元気 体操	H31.4～ R2.3 水もしくは金	ふれあいハウス 「たんとんとん」	7人	たんとんとん 利用者 18人	
「たんとんとん」行事	別途記載	別途記載	15人	たんとんとん 利用者 18人	

⑤ 地域福祉に関する啓発・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
ふれあいコンサート	R1.10.20	佐野市城北地区公 民館	23人	佐野市住民 及び近隣の方 141人	405
コンサート実行委員会	R1.8.20 R1.9.9	まごの手	7人		
佐野市生活支援体制整 備協議体会議出席	HR1.9.30	佐野市 市役所	1人		
他団施設見学参加	R1.9.18 R1.10.24 R2.1.27	鹿沼市・日光市 真岡市・芳賀町 壬生町	1人 1人 1人		
いろえんぴつの会参加	別途記載	別途記載	3人		
栃木県 生活支援 コーディネーター研修 手伝い	R1.11.22	栃木県庁	1人		

⑥他団体との連携及び交流事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
とちぎ地域福祉ネット 参加	別途記載	別途記載	2人	福祉・NPO 市民団体	52

(2) その他の事業

①バザー等物品販売事業

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲・人数	支出額 (千円)
実績なし	実績なし	実績なし	0人	0人	0